

令和5年度 江東商業高等学校 年間授業計画（1・2学年用）

教科：（芸術） 科目：（音楽1） 単位数：（2単位） 対象：（第1学年 A組～E組）

教科担当者：（A組：小池）（E組：小池）

使用教科書：（MOUSA 教育芸術社）

教科・科目の目標：

・音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情

評価の観点：

【知識・技能】：知	【思考・判断・表現】：思	【主体的に学習に取り組む態度】：主
<p>【歌唱・器楽・鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表している。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 <p>【創作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。 	<p>【歌唱・器楽・創作・鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、表現意図をもっている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 	<p>【歌唱・器楽・創作・鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

単元項目	学習内容	表現			鑑賞	評価規準	評価の観点			配当 時数
		歌	器	創			知	思	主	
曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	曲にふさわしい発声などの技能を身に付けるとともに、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う	○	○	○		・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付けたか ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解できたか ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫したか	○			5
ボディー・パーカッションや“CUPS”に挑戦しよう	曲想と音色や奏法との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、他者と協働しながら自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫する					・リズムを正確に捉えるとともに、その重なり合いやつながりを意識して演奏できたか ・曲想に合った音色や奏法、パフォーマンスなどの技能を身に付け、表現を工夫できたか ・共通のイメージをもって、曲の特徴を生かした表現ができるよう試行錯誤したり意見を交換したりしながら演奏できたか				3
表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	リコーダーの奏法を身に付けるとともに、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する					・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付けたか ・演奏したり互いに聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解できたか ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫したか				4
J-POPや歌謡曲の特徴を理解して歌おう	J-POPや歌謡曲を取り上げ、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、イメージをもって歌うとともに、自分や社会と音楽との関わりを考える					・曲について調べたり意見を交換したりして曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりを理解するとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えられたか ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫したか				4
「コード進行」をもとにメロディーをつくろう	多くの曲に用いられているコード進行をもとに、音のつながり方やフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、さまざまな手法を活用しながらイメージをもって創作する					・コードの構成音をもとに音の組み合わせ方やつながり方を試しながら、自分の表したいイメージに合うメロディーを作れたか ・反復、変化、対照などの手法を用いてメロディーをつくったり、つくったメロディーにもう一つのメロディーを重ねたりする技能を身に付けることができたか				3

	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	声やさまざまな楽器が生み出す響きや、その特徴が、どのような要素やそれらの働きによってもたらされているのかを探索するとともに、音楽のよさや美しさを味わう					<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きに注目しながら鑑賞できたか ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深めることができたか ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合えたか 				5
	表現を工夫してギターを演奏しよう	ギターの奏法を身に付けるとともに、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する					<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付けることができたか ・演奏したり互いに聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解できたか ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫することができたか 				6
	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう	さまざまな言語による歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現を工夫して独唱する					<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付けることができたか ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解できたか ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫することができたか 				8
2 学 期	発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくろう	オノマトペのもつリズム感やアクセントなどのおもしろさを生かして、他者と協働しながら表現を工夫してリズム・アンサンブルをつくり演奏したりする					<ul style="list-style-type: none"> ・オノマトペのもつリズム感やアクセントなどのおもしろさを生かして、それを連ねたり重ねたりしながら、パートの組み合わせなどを工夫してリズム・アンサンブルをつくることができたか ・反復、変化、対照などの手法を用いてリズム・アンサンブルをつくる技能を身に付けられたか ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解できたか ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫することができたか 				2
	表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをしよう	各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをする喜びを味わう					<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が主体性を発揮しながら、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができたか ・各パートや指揮者の役割を理解するとともに、全体の響きやハーモニーをイメージしながら演奏できたか ・共通のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫することができたか 				8
	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう	和楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する					<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付けることができたか ・演奏したり鑑賞したりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解できたか ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫することができたか 				4
	世界の諸民族の音楽を知ろう	世界の諸民族の音楽を、声や楽器に着目して鑑賞したり歌ったりしながら、その音色や表現の特徴を理解する					<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸民族の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら鑑賞することができたか ・それぞれの音楽表現の共通性や固有性について気付いたことや考えたことを述べ合い、理解を深めることができたか ・アリランとヨーデルの声の音色、リズム、旋律などの特徴を理解し、曲にふさわしい発声で歌い、表現に必要な技能を身に付けることができたか 				2
	ミュージカル・ナンバーを歌おう	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う					<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルを鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して、表現に必要な技能を身に付けることができたか ・歌ったり互いに聴き合ったり、意見を交換したりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解できたか ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫することができたか 				4

3 学 期	作曲家の生涯と作品をたどろう	J.S.バッハやW.A.モーツァルトの生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を味わう					<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞したり、作曲家について調べたり、意見を交換したりしながら、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解することができたか ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合うことができたか 			4
	さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう	各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫して器楽アンサンブルをする喜びを味わう					<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が主体性を発揮しながら、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができたか ・各パートの役割を理解するとともに、全体の響きやハーモニーをイメージしながら演奏することができたか ・共通のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働きかたなどを試行錯誤しながら表現を工夫することができたか 			4
									合計	66